

世界史B

問5 下線部⑤に関連して、南北戦争の背景とその経緯について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 北部では産業革命が進んでいたため、自由貿易と連邦主義が主張された。
- ② 南部では黒人奴隷を使役する綿花プランテーションが発展していた。
- ③ 戦争中に制定されたホームステッド法により、南部の黒人は土地を与えられて自作農になった。
- ④ 南北戦争に際して、ヨーロッパ諸国は武装中立同盟を結成した。

問6 下線部⑥に関連して、第一次世界大戦後のアメリカ合衆国について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① ウィルソン大統領の提唱した国際連盟には、最後まで加盟しなかった。
- ② ワシントン会議を主催し、この会議で不戦条約を締結した。
- ③ 1920年代には民主党の大統領が続き、大企業を保護する経済政策が進められた。
- ④ 世界恐慌が起こると、フーヴァー大統領はニューディール政策を進めた。

C 1923年、魯迅は北京女子高等師範で、ノルウェーの劇作家 ⑦ が著した『人形の家』の女主人公ノラについて講演し、女性運動を鼓舞した。女性で初めて日本に留学し、中国同盟会に参加した秋瑾^{しゅうきん}や何香凝^{かこうぎょう}らは、革命運動に参加した。とくに何香凝は、中国国民党の黨員として女性解放運動を指導し、また国民党左派の立場から⑧蔣介石を批判した。彼女は⑨中華人民共和国が成立すると、新生中国の建設にも参加した。

問7 文章中の空欄 ⑦ に入れる人名として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① バルザック
- ② モーパッサン
- ③ ドストエフスキー
- ④ イプセン